

ならはっ子通信



令和6年12月22日
第45号

発行：地域学校協働センター

地域との連携を中央省庁でプレゼン！

11月11日（月）、楢葉小学校の6年生の代表4人がギリシャ訪問前に文部科学省を訪れ、こども家庭庁や復興庁の担当も含む22人の官僚の皆さん前で、楢葉町の地域学校協働活動について発表しました。特に防災教育や震災教育については関心が高く、防災士のみなさんと企画した防災ワークや、小中学生と消防団や地域住民の皆さんのが一堂に会した地域学校防災授業、2年間福島を代表して出場したぼうさいこくたいなどについて、やりとりがなされ、高い評価を受けました。出席した茂里総合教育政策局長からは、

「多様な形で地域住民が教育に参画していて、素晴らしい!!!」と伝えられるとともに、子どもたちが自分の言葉で堂々と受け答えしている姿が本当に立派だと言われました。楢葉の子どもたちが大きく成長しています!!!



関係省庁で話題となり、幹部級も参加して当日はまさかの22名に!!! しかし、緊張せず素晴らしい発表でした。

こども議会の提案を実現!!!

6月に開催されたこども議会。昨年度の提案では、朝の放送の見直しやエコバッグの開発、地元ゆずを使ったゆずジュースやシロップの開発を実現させました!!! 今年も着々と実現に向かっており、まずは産業創生課と共に企画してきた楢葉町の町内を巡るフットパスコースづくり。観光スポットや健康のためのウォーキングコースなどを子どもたちが提案したことが活かされています。12月7日には実際に企画した子どもたちと共に歩いてみました。もう一つは町内に在住するベトナムの方向けに作成しているベトナム語に翻訳した

「暮らしの便利帳」作り。災害時対応や申請書類、問い合わせ番号など、大切な項目をもとに一つ一つ丁寧に翻訳アプリとイラストアプリを使って作成しています。誰もが住みよい街を目指して子どもたちもがんばっています!!!



一つ一つ丁寧に日本語の部分を消し、見やすさを意識しています。

こども園で親子レクリエーションを開催しました!!!

今年も桜の聖母短期大学の堺先生とそのゼミ生6名がこども園に来てくれ、こども園の先生方と一緒に親子レクリエーションを企画しました。まずは保育士を志す学生による組体操やマスゲーム。見事にそろった演技を見た子どもたちからは大歓声。その後は親子でリズム体操。保護者の皆さんも童心に帰ったようでした。運動遊びでは、長縄やトンネルサーキットなど、親子で息を合わせた姿が多く見られ、笑顔であふれています。後半はこども園をダイナミックに使った親子交流ウォークラリー!!! ただ歩くのではなく、親子で一つのデカパンをつけて歩くなど、色々なミッションに取り組むことで、協力した姿が見られました。こども園では親子交流と家庭教育力の向上を目指し、これからも幼児教育アドバイザーの堺先生のサポートのもと、充実した企画を展開していきます!!!



親子の絆もさらに深まったようでした!!!

双葉郡における放射線教育の在り方について議論しています。

楢葉町と富岡町、広野町、川内村の4町村におけるこれからの放射線教育の在り方について検討するため、各町村の指導主事と小中学校の担当教員が一堂に会して議論を行っており、その幹事を立ち上げから3年にわたって協働センターが務めています。今年は目に見えない放射線をどのように子どもたちが実感し、興味をもって学べるかということをテーマとして、楢葉町では試験的にならはっ子こども教室でも体験重視のプログラムを実施しました。放射線教育のキーワードは「正しく理解し、正しく恐れる」ことと言われています。原発と関係の深い楢葉町だからこそ、しっかり自分事として捉え、しっかりとした情報を収集し、判断できる子どもたちに育てていきたいと思います。



こども教室では、放射線の遮蔽について、ガイガーカウンターを使った実験を通して楽しく学んでいます。

○ こども園・小中学校に対する評価について

楢葉町学校運営協議会では、地域によるこども園と小中学校の外部評価を年に一度、実施しております。今年度も12月に民生・児童委員さんや運営協議委員さんらを対象に実施させていただきました。ご協力、ありがとうございました。

【お問合せ先】 楢葉町地域学校協働センター（楢葉小学校1階）
(直通) 070-7421-5156 (教育委員会) 0240-23-5515

猿渡・渡部

kyoudou-n@town.naraha.lg.jp